

Kubota

For Earth, For Life

「種まく人」を、
「世界の食」を、
支えたい。

種もみ	小麦
もみ穀を取り除くと玄米、精米すると米となる。アジアの主食。	パンや麺などの原料。多くの国で生産され、世界の食を支えている。
モロコシ	黒米
収量や乾燥に強いのが特長。日本ではタカヒとも呼ばれている。	古代米のひとつ。その多くが、東南アジアや中国で主に生産。
小豆	緑豆
日本では赤飯や和菓子などよく使われる。生産は主に東アジア。	もやしや春雨の原料。東アジア～南アジア、アフリカで主に生産。
もち粟	もちきび
日本最古の穀物。中国では古代より、粟から麵が生産されていた。	生育期間が短く、乾燥に強い。主にインドやアフリカで生産。

種まく人 ジャン=フランソワ・ミレー(フランス)
大地とともに生きる農民の姿や自然の美しさを描きつけた画家ミレーが、1850年に描いた大作。

世界中の穀物が、これからもずっと豊かでありますように。
人類の願いは、クボタの願いです。

あしたの豊かな食への想いを込めて、名画「種まく人」を世界の穀物で描きました。地球上の人口は増加し続け、いまや70億人を突破。2050年には90億人*を超えると予想されています。それに伴い、食料も大幅な増産が求められています。クボタは、世界の国々で農業の機械化・省力化を推進し、食料のさらなる生産量向上に貢献、食料問題に全力で取り組んでいきます。

*出典:国連「世界人口予想」

「食料・水・環境」の課題に
トータルに取り組むクボタです。



株式会社クボタ
www.kubota.co.jp